

2019年4月14日 主日礼拝（洗礼式・聖餐式）

プレイズ

奏 楽

祈 禱

賛 美 聖歌403番「栄の冠を」
(主を喜ぶことは) (み手の中で)

主の祈り

聖 書 ①ペテロの第一の手紙 2章22～25節 (p368)

②ルカによる福音書 23章39～46節 (p132)

音 楽 西田美栄子姉(伴奏: 田中隆美姉)

証 詞 ①本間亜紀子姉(ルツ会)

メッセージ ①「魂の牧者イエス・キリスト」久保田豊副牧師

②「イエスを王と認めた男」大川従道牧師

賛 美 「十字架にかけに」(献金)

頌 栄 「主の名を賛美しよう」アーメン

祝 禱

「父よ、彼らをおゆるしくください。
彼らは何をしているのか、わからずにいるのです。」
(ルカ二十三の三十四)

【町田ニュース】

- ・ 今週から受難週に入ります。心して過ごしましょう。
- ・ 昼食後、**子どもイースター祭りの準備**があります。
- ・ 東京カルバリーは夕方5時から。説教は大川牧師。
- ・ **早天祈禱会**は月～土曜朝6時。ルカ福音書から恵まれています。
- ・ 月曜1時、火曜1時より、小学校で**チラシ配布**があります。
- ・ 火曜日 10時「**ほっとママの会**」(牧師館にて)。講師は坂本真貴子先生。
- ・ 祈禱会を大切に(Y)。説教は、水曜夜は丸藤伝道師、木曜朝は大野 M 伝道師、金曜夜は佐々木副牧師。
- ・ 土曜日午後2時「**子どもイースター祭り**」。協力者は朝10時集合。
- ・ 来週は**イースター礼拝**です。**イースターエッグのプレゼント**があります。お誘いしましょう。日曜学校はプレゼントデーです。
- ・ 今週も宿題(祝大)にそって聖書を読みましょう。



畑の中の宝物

ある田舎では、畑で人手が足りない時、みなによびかけてバーベQをふるまうらしい。それから、みなに協力してもらい畑を耕すことを恒例としているそうだ。

先日、シオン幼稚園の関係で知り合いになった岡上(鶴川駅の反対側 大きな生産緑地帯がある)のお父さんから、「急ぎよ、桜の散る前にバーベQを企画しましたので参加しませんか?」と呼びかけがあった。参加を申し込むと「軍手と動きやすい格好で来てください。お手伝いお願いします。」とあったのでバーベQのお手伝いだと思って行くと、バーベQの前に畑の土地を借りたので、整地する手伝いをしてほしいとのことだった。

今まで木を栽培していた所を畑にするためには、粘土質の土地のため水はけをよくする必要がある。その作業のため、シャベルカーの操作の仕方を教えてもらい土をかける作業を少しした。今年1年は土作りに時間がかかるらしい。

その後、素晴らしい自然の中でバーベQを楽しんだ。半分だまされた感じもしないわけでもなかったが、悪い気もしない。人手が必要なのだからできる範囲で協力したいと思った。主の働きにも人手が必要。「収穫は多いが働き人が少ない」。バーベQは用意できないかもしれないけど、天からの祝福が豊かにあります。子どもイースター祭りやほっとママの会のご協力お願いします。

昭和34年の文章を最近読んだ。戦争が終わり平和となって14年もたち、日本は自由と繁栄を回復したのに、それを信ぜず、ルパン島(ルパン島)の密林に生きている日本兵が二人いる。なんと気の毒な、と思う。ところが日本政府は使いをおくり、調査団は炎暑のいばらの中でハチに襲われながら八方手をつくして脱出を呼び掛けた。「ただ出てくれればよい、恐れることはない、諸君を殺す者はいない。それどころか、平和な日本へ帰れるのだ。故郷へ帰れるのだ。私たちの愛を受けてくれ、この愛を信じてくれ」と。

キリストの死と復活により神と人が和陸してから2000年にもなり、キリストを信じた者には平和と自由が与えられているのに、それを信じず、エゴと恐れの中に生きている人があまりにいる。イースターにプレゼントもある。お誘いしましょう。

大塚 信頼

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう。

Aコース:ルカ14章～17章

Bコース:サムエル記上15章～31章